

設立趣意書

2020/7/22暫定版

日本電動モビリティ推進協会

日本電動モビリティ推進協会（Japan Electronic Mobility Promotion Association / JEMPA）とは

- ✓ 日本において主に乗用の小型電動モビリティを開発もしくは販売・運用する事業者による次世代に向けた電動モビリティの在り方を提言する協議会です。
- ✓ 当会でいう小型電動モビリティとは人が乗り、地上を走る乗り物を指します。
具体的には各分科会ごとに提案を作成していきます。
- ✓ 現行法が想定していなかった便利な乗り物が技術の進歩によって開発され、安価に普及されつつあります。
そこで安全を第一に、利活用に向けた提言を行っていきたいと考えています。

技術の向上による安価で便利な乗り物の多様化する現代における パーソナルモビリティのアップデート

- 誰もが効率的・機能的に移動でき、社会受容性のあるモビリティの可能性を最大化
- 単に便利なだけではなく、モビリティによる移動を楽しむことと安全性の両立を図るべくモビリティ開発と社会インフラへの最適化に向けた提案
- 持続可能な社会の実現に向けたモビリティの
耐久性・エネルギー利活用を推奨

新しい電動モビリティの活用例

- ラストワンマイル問題の解決手段
- 観光地での効率的な移動手段
- アクティブシニア、免許返納後の乗り物（現行の速度制限6km/hの緩和）
- 個々の身体能力に応じた移動手段の多様化
- 三密を避けるなど、社会情勢に応じた移動手段

さまざまな次世代電動モビリティ

キックボード



モペット



トライク



車椅子



バイク



クルマ



当会の主な 3 つの活動内容

- ① 現行の枠組みで乗れる電動モビリティの安全走行に関する
啓発活動・情報発信
- ② 電動モビリティの利活用に向けた勉強会・リサーチを行うこと
- ③ 新しい電動モビリティ規格への政策提言と
まちづくりにおけるインフラ整備への政策提言

原付扱いの電動モビリティの安全な乗り方の啓発活動

- 安全な右折の方法
- 自転車道は原付走行不可などの忘れられがちなルールの啓発
- 夜間・雨天での走行の危険性
- 公共の場所での持ち運び方のマナー

日本において公道走行可能なモビリティを 消費者にわかりやすい一般的な説明

- 電動キックボードは原付扱い
- フル電動自転車は公道走行不可

②電動モビリティの利活用に向けた勉強会やリサーチを行うこと

- 日本の道路事情に合わせた利用者の動向データの収集による安全性リサーチを行い、法規や素材・部材を含めた新技術の知見を得るための勉強会を開催する
- 新しいモビリティを販売していくために、事業者・利用者の観点で意見を取りまとめ、行政に提出して提案する

③ 新しい電動モビリティ規格の提案

現行の原付未満相当の電動モビリティにかかわる規定について、
機構による区分ではなく、速度と大きさ（質量）での区分を提案します

【検討中の素案】

速度

24km/h（注：現行のアシスト自転車と同じ速度制限）

諸外国の事例を参考に。

歩行領域 6km => 12km/h

大きさ

検討中

③まちづくりにおけるインフラ整備への提言

安全と使いやすさを兼ね備えた 電動モビリティフレンドリーなインフラ整備の提言

- 低速走行帯の整備の提言
- 効率的な駐輪・駐車スペースの提言
- 充電スポットの整備

参加事業者および連絡先事務局

参加事業者：

glafit株式会社

info-jp@glafit.com

K-Mobility合同会社

contact@hop-on.jp

連絡先事務局：

パロット行政書士事務所

神奈川県川崎市高津区坂戸1-6-7

パロット溝の口501

新井秀美

mail@jempa.org

電話番号05031385353

何歳になってもかっこいい乗り物に乗りたいという
人の気持ちによりそう会であり続けます！